

新たな観光を創造する

# WELLNESS TOURISM COORDINATOR

安全・安心な沖縄型ウェルネスツーリズムコーディネーターの育成プログラム

# ウェルネスツーリズムコーディネーター受講生募集

## ニューノーマルな観光の時代

本事業の目的は、観光衛生マネジメントの必要性(コロナショックを受けて安全・安心価値が最上位になったこと)、沖縄型ウェルネスツーリズム普及の必要性(ウェルネス産業市場の拡大が世界の潮流であること)を踏まえた安全・安心なウェルネスツーリズムを創出できる人材の育成です。人材育成の効果は、当面続くことが予想されるウィズコロナの渦中および再来が避けられない新興感染症と共存するニューノーマルな観光の時代において、国内において競争力を発揮することです。

## 観光業界に新たな価値を創造する人材を募集します

沖縄型ウェルネスツーリズムは、プレーヤーとされる観光関連事業者のみでなく、島嶼地域に根差し資源の活用と保全に熟知した地域(資源・人・コミュニティ)と直接結びつきます。地域が協働で、地域資源を「ウェルネス資源」という新しい価値として生み出していくことで、提供サービスの付加価値が高まり、生産性が向上します。また、地域の1次、2次産業企業とのアライアンスにより収益の県外移転を抑制する課題解決にも通じます。

### □ 募集要項

研修期間	2021 10.22	—	12.14
研修方式	オンライン		
募集定員	35名程度		
募集締切	2021年10月4日(月)		

※新型コロナウイルス感染症の状況により研修方式・日程が変更になる可能性があります。

参加  
無料

※離島からの旅費支援あり

# 安全・安心な沖縄型ウェルネスツーリズムコーディネーターの育成プログラム

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大は、経済に打撃を与え、人々の日常生活や価値観を変え、移動の自由を阻み、ツーリズム産業の根幹を揺るがしています。今後、ワクチンや治療薬ができたとしても、歴史が示すように新興感染症の再来は避けられません。ウィズコロナ、アフターコロナで求められる観光地の選択基準として「安全・安心」が最上位価値となり、自由な移動・滞在の確保、顧客満足度にも関わる「観光衛生マネジメント」が必要不可欠となっています。

ウィズコロナ、アフターコロナの観光は、従来の観光からの脱却が求められていきます。その際、感染症予防は「対策」という言葉に想起される従来の守りの姿勢ではなく、むしろ、観光客との信頼関係につなげるチャンスととらえ、誘客や収益増につなげる攻めのマーケティングという発想で感染症対策の基本事項を理解把握し、実践する力を身につけることがこれからの観光関連従事者にとって不可欠です。本事業ではニューノーマルな観光産業のデザインに向けて、これからの観光に、量から質への転換の視点を醸成し、高付加価値を創造でき、新たな需要を生み出す起点としての観光衛生マネジメント能力を養います。

## □世界の潮流ウェルネス産業

### - 沖縄型ウェルネスツーリズム普及の必要性 ~

米国のポール・レイ博士らによる全米15万人を対象とした追跡調査の結果、「サステナビリティ(持続可能性)志向で環境と健康に配慮したウェルネス消費行動を実践する新しい人口層」がやがて社会の主要構成員になっていくと予測されています。ウェルネス産業は、ヘルスケア市場、クリーンエネルギー市場等を包含し、世界ウェルネス機関の2020年最新レポートによると4兆2,000億ドル(≒462兆円)と極めて巨大となっています。理想論でなく、現代社会に必要な不可欠な「経済」「消費」概念を伴いつつ、サステナビリティ(持続可能性)思考と行動実践を両立する層であり、企業の社会的責任投資(SRI)やESG投資を巻き込み市場成長しています。ツーリズム業界でも、世界中の名だたるホテル、特に環境への負荷軽減を追求し地域の自然や文化の保全共生を志向する事業者がウェルネスを新しいビジネスチャンスと捉え、ウェルネスを前面に打ち出したメニュー開発、サービスを提供しはじめています。

## □人材育成カリキュラム

沖縄型ウェルネスツーリズムが、プレーヤーとされる観光関連事業者のみでなく、島嶼地域に根差し資源の活用と保全に熟知した地域(資源・人・コミュニティ)と直接結びつき、地域資源を「ウェルネス資源」という新しい価値として地域が協働で生み出していくことで、提供サービスの付加価値が高まり、生産性が向上します。また、地域の1次、2次産業企業とのアライアンスにより収益の県外移転を抑制する課題解決にも通じます。

### - 目指すべき人材像に向けて必要な知識・技能

- ・ 観光衛生マネジメントに関する知識
- ・ 観光衛生マネジメントの具体的な手法および現場への適用に関する技能
- ・ 沖縄および地域の観光の現状と課題の捉え方に関する知識・技能
- ・ 観光の現状と課題を踏まえ、現実的かつ有効な観光資源の活用方法を見出す技能
- ・ ウェルネスとSDGs(持続可能開発目標)の関係性に関する知識
- ・ 地域の観光資源をウェルネス資源として捉え、SDGsの達成に寄与するウェルネスツーリズムを創出できる技能

事業のカリキュラム開発の背景には、沖縄観光が策定する次期基本計画「第6次沖縄県観光振興基本計画」(素案)があります。具体的には、同計画に掲げられる目指す将来像「世界から選ばれる持続可能な観光地」、将来像に向けた「持続可能な観光地域づくりの追求」に基づき、「社会」、「経済」、「環境」の調和が取れた沖縄観光の実現、持続可能な観光地域づくりの追求に取り組む県の将来方針に合致した内容としています。

### - お申込み

<メールにてご応募>

下記アドレスより応募要項と参加申込書をダウンロードいただきメールにてご提出ください。

**E-mail: [wellness@okikanka.or.jp](mailto:wellness@okikanka.or.jp)**



**申込期限: 2021年10月4日(月)まで**

※2次元バーコード読み込み(<https://www.okikanka.or.jp/kankyuu/envConsultant/wellness/index.html>)



## - 講座シラバス -

**研修方式** — 新型コロナ対策の為、原則Zoomを使ったオンライン研修  
**講座日程** — 全15回/合計7日間開催(2021年10月22日~12月14日)

※新型コロナ対策の為、原則Zoomを使ったオンライン研修(録画補講あり)  
※グループワークの開催形式については、現在検討中(録画補講は未定)

日時	講座回	テーマ
10月22日(金)	第1回	講座の全体説明 ウェルネスツーリズム概論
11月5日(金)	第2回	ウェルネスツーリズムと安全・安心・衛生対策(1)
	第3回	ウェルネスツーリズムと安全・安心・衛生対策(2)
	第4回	安全・安心・衛生対策フィールドワーク
11月12日(金)	第5回	ウェルネスツーリズムと持続可能な自然・環境共生(1)
	第6回	ウェルネスツーリズムと持続可能な自然・環境共生(2)
	第7回	持続可能な自然・環境共生フィールドワーク
11月19日(金)	第8回	ウェルネスツーリズムと持続可能な地域・社会・歴史文化(1)
	第9回	ウェルネスツーリズムと持続可能な地域・社会・歴史文化(2)
	第10回	持続可能な地域・社会・歴史文化フィールドワーク
12月3日(金)	第11回	ウェルネスツーリズムと持続可能な経済・ビジネスモデル(1)
	第12回	ウェルネスツーリズムと持続可能な経済・ビジネスモデル(2)
	第13回	持続可能な経済・ビジネスモデルフィールドワーク
12月6日(月)	第14回	持続可能なウェルネスツーリズム事業企画提案グループワークI
12月14日(火)	第15回	持続可能なウェルネスツーリズム事業企画提案グループワークII

「安全・安心な沖縄型ウェルネスツーリズムコーディネーターの育成プログラム」事務局 担当:アカミネ、トウマ  
沖縄型産業中核人材育成事業 沖縄県環境科学センター・南城市観光協会共同  
E-MAIL [wellness@okikanka.or.jp](mailto:wellness@okikanka.or.jp) / TEL: 098-875-5208 / FAX 098-875-1943

※問い合わせの際、「ウェルネスツーリズム」の件で問い合わせいただいた旨お伝えください。

お問い合わせ